

No.16 茨城県大子町（商店街活性化）

地域力創造アドバイザー	齋藤 一成 氏（A317）
活用分野	中心市街地活性化、商店街活性化
活用期間（頻度）	令和4年度～令和6年度（月1回程度）
キーワード	# 商店街活性化 # 100円商店街 # 顔見し～る # まちあそび人生ゲーム

【目的】

大子町中心商店街で活動する商店街の若手有志の団体（らっしやい・でえご隊）の既存事業の磨き上げや新規事業の実施等を支援することで、商店街の魅力を向上し、地域活性化を図る。

【内容】

- 100円商店街（※1）事業の磨き上げ
- 新規事業である商店街まちあそび人生ゲーム（※2）と顔見し～る（※3）の実施の支援
 - ※1 商店街の各店舗の一部の商品を100円で販売するイベント。平成19年からこれまでに45回開催
 - ※2 商店街を人生ゲームのボードに見立てて商店街を回遊するイベント
 - ※3 スタンプラリー形式で店主の写真のシールを集めながら商店街を回遊するイベント

【成果（見込み）】

- 100円商店街
 - ⇒100円商品の販売だけでなく、新規イベントとして100円開始オークションを同日開催。
 - ⇒マンネリ化が問題視されていたが、各店舗がアドバイスを基に商品の見直し等を行った結果、来客数が増加（1～2割）しただけでなく、客層の変化（若い年代の来客数の増加）も見られた。
- 商店街まちあそび人生ゲーム
 - ⇒商店街の施設を会場にする町のイベントと同時に開催。
 - 人生ゲームの実施によって、当該イベント会場から商店街への新たな人の流れを生み出すことができた。
 - 約140組が参加。
 - ⇒参加店舗のイベント実施日の売上は例年の1.2倍～1.5倍に増加した。
- 顔見し～る
 - ⇒通常閑散期である時期に町内外から100人以上が参加し、商店街内に活気が生まれた。
 - ⇒参加者からは、「これまで入ったことのない店舗に入るきっかけができた。」等のコメントがあった。
 - ⇒イベントと併せて安心安全な商店街づくりを推進し、新たに商店街内にこどもを守る110番の家が25店舗登録された。



まちあそび人生ゲーム
チラシ



顔見し～るチラシ



100円商店街の様子